# でんぷんのりの接着力

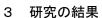
## 熊本市立飽田西小学校 5年 宮崎 綾乃

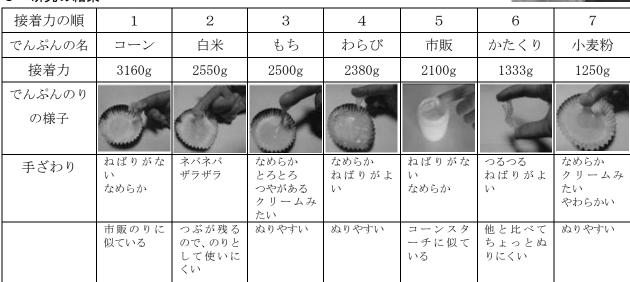
#### 1 研究の目的

1学期に、でんぷんの学習をして、でんぷんを加熱することでのりになることを知った。昔の人は、ごはんつぶをのりのかわりにしていたそうだ。でんぷんはいろいろな食物にあるので、いろいろな種類のでんぷんのりを作り、それの接着力や様子のちがいを調べてみたいと思った。

### 2 研究の方法

- (1) 材料 かたくり粉 (ばれいしょ)、コーンスターチ、わらびもち粉、 小麦粉、ごはん (白米)、市販のり (フエキ)
- (2) 調べること でんぷんのりの接着力、色、手ざわり
- (3) 接着力の調べ方
  - ① 木の板に布を5×5cmの大きさにはりつける。
  - ② 布におもり (プラスチックのバケツ) をさげ、水を少しずつ入れ、 重さを増やしていく。
  - ③ 布がはがれたときの重さをはかる。
  - ④ 3回ずつ調べて平均をとる。





#### 4 研究の考察

- (1) コーンスターチの色や手ざわりは、市販のりによく似ている。調べてみると、市販のり(フエキ)の原料はコーンスターチだった。接着力が強いので原料に使われているのではないかと思う。
- (2) 市販のりが予想よりも強くなかったのは、いろいろなまぜものがあるからではないかと思う。
- (3) 小麦粉はあまり接着力は強くなかった。ぬったとき、さらっとしているので昔から障子はりなどに使われてきたのではないかと思う。



